

坂井松梁 （しらかべ まつらぎ） 漢學者。生歿年不詳。本名末雄。別號草堂詩閣。

著書 『詩文精華』（本名、編、明治二十五年二月）二十五年明倫社）、

『能文要訣』（阪井松梁名、大日本文章學會編、明治二十四年六月十

九日新聲社）、評『詩文精華』（本名、批選、明治二十四年十一月）

十日新光閣）、評『老子』（明治四十二年五月一日日進堂書

店）、現『人物の研究』（酒井松梁名、編、明治四十三年十一月）

春歌堂）、詠史『詩集日本樂府詳解』（詳解、明治四十三年十

二月十日青山堂書房）、青山延光著 新『六雄八將論』（譯、明治四

十四年一月五日何榮堂）、名士『幼年時代梅檀は二葉から』（本名、大正

十三年五月十日大阪・武田父盛館）、『漢詩作法』（草堂詩閣名、昭

和八年九月十日巧人社）、『賴山陽詠史の評釋』（昭和十一年一月）

十五日京都・人文書院）等。